

## がん手術後の浮腫 気や血の流れを改善

**Q** 六十歳、女性。三年前に子宮がんの手術をして放射線治療も受けました。病気は落ち着いていくとのことですが、足のむくみと痛みで困っています。漢方によい薬はありますか。

**A** 下腹部のがんや乳がんの手術などで手術後に放射線治療をした場合、血流やリンパ液の流れが滞ることによって起こるリンパ管浮腫（ふしゅ）で悩んでいる人が少なくない。子宮がんなら下肢のむくみ、乳がんなら手術側の腕のむくみに悩まされる。西洋医学には決め手がなく、対症療法にならざるをえない。

漢方医学体系には本来こうした状態に対する記載はないが、むくみや痛みの状態を漢方医学の目で解釈すると、伝統的な概念である「気分」

（きぶん＝気の流れの分断）や「血分」（けつぶん＝血の流れの分断）による浮腫に類似するものと考えられる。そこで気の流れや、血の流れをよくする漢方薬を処方する。

最も一般的な処方桂枝茯苓丸（けいしぶくりょうがん）である。そのほか、分消湯（ぶんしょうとう）、十六味流気飲（じゅうろくみりゅうきいん）、補中治湿湯（ほちゅうちしつとう）などを試みている。私の経験では、リンパ管浮腫にしばしばリンパ管の炎症による発熱を伴った例で、下肢が「象の足」のようにはれあがり、痛みを伴っていた。神効湯（しんこうとう）という漢方薬を処方したところ、次第に浮腫が軽減して日常生活になんら支障をきたさないまで回復した。

## がん手術後の浮腫 気や血の流れを改善

**Q** 六十歳、女性。三年前に子宮がんの手術をして放射線治療も受けました。病気は落ち着いているとのことですが、足のむくみと痛みで困っています。漢方によい薬はありますか。

(きぶん＝気の流れの分断) や「血分」(けつぶん＝血の流れの分断) による浮腫に類似するものと考えられる。そこで気の流れや、血の流れをよくする漢方薬を処方する。

**A** 下腹部のがんや乳がんの手術などで手術後に放射線治療をした場合、血流やリンパ液の流れが滞ることによって起こるリンパ管浮腫(ふしゅ)で悩んでいる人が少なくない。子宮がんなら下肢のむくみ、乳がんなら手術側の腕のむくみに悩まされる。西洋医学には決め手がなく、対症療法にならざるをえない。

漢方医学体系には本来こうした状態に対する記載はないが、むくみや痛みの状態を漢方医学の目で解釈すると、伝統的な概念である「気分」

最も一般的な処方桂枝茯苓丸(けいしぶくりょうがん)である。そのほか、分消湯(ぶんしょうとう)、十六味流気飲(じゅうろくみりゅうきいん)、補中治湿湯(ほちゅうちしつとう)などを試みている。私の経験では、リンパ管浮腫にしばしばリンパ管の炎症による発熱を伴った例で、下肢が「象の足」のようにはれあがり、痛みを伴っていた。神効湯(しんこうとう)という漢方薬を処方したところ、次第に浮腫が軽減して日常生活になんら支障をきたさないまで回復した。